

成人病の予防に

健康診査は有効な手段です

一般健康診査・がん検診の結果まとまる

59年度の一般健康診査とがん検診が終わり、このほどその結果がまとまりました。そこで今回は、これらの結果をもとに、受診された方々の健康状態や、健康な生活を送るためのポイントなどについて考えてみました。これを機会に、自分自身や家族の健康について、もう一度見直してみたいかがでしょうか。



日ごろの健康管理は健康診査から



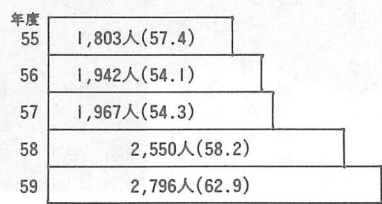
一般健康診査の結果

大切な早期発見

脳卒中や心臓病などの循環器系の病気は、高血圧や動脈硬化をはじめとする、自覚症状のない疾患を放っておくことにより、発生・悪化することが多いのです。このため、高血圧や動脈硬化を早期に見出し、適切な処置をすることが、何よりも大切なのです。

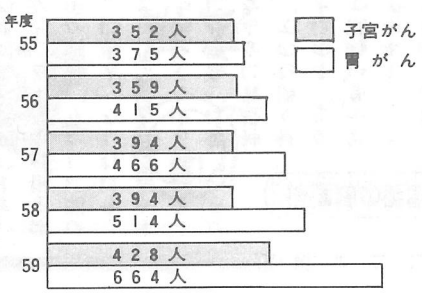
高まる健康への関心

①一般健康診査の受診者数



町で実施する健康診査には、一般健康診査（血圧測定を中心とした循環器系の検診）と、がん検診（胃がん・子宮がんなど）があります。これらの受診者数は、年々増加しており（左図）、健康への関心は高まっていると言えます。

②がん検診の受診者数

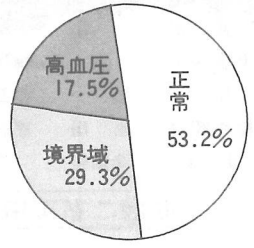


宮がんなど）があります。これらの受診者数は、年々増加しており（左図）、健康への関心は高まっていると言えます。

血圧の高い人が多い

さて、町の健診結果を見ると、正常血圧の人は約半数にすぎません（左図）。一方、高血圧症の

一般健康診査での血圧測定結果(59年度)



(受診者数 2,643人)

■ 血圧判定 ■ (単位: mmHg)

区分	最大血圧		
	140未満	140以上160未満	160以上
最小血圧	90未満		
	90以上95未満		
	95以上		

■ 正常血圧 ■ 境界域血圧 ■ 高血圧

疑いのある人（最大血圧160以上、最小血圧95以上）は、17・5パーセントとかなり多くなっています。